2024年12月11日

南相馬市議会議長
鈴木昌一様

南相馬市議会議員

郡 俊彦

政治倫理審査結果報告書についての意見書

- (1) 私が発行している「わだい」と「市政報告」の記事の内容に、発言取り消しとなった経過等を記載したことが倫理違反と云うのですが、事実を市民の皆さんに報告したことに対する干渉です。

会議規則89条は市議会が作成する「会議録」に取り消された部分は「掲載しない」という規定であって、市民への報告を制限する規定ではありません。

別に全ての発言を記載した「会議録原本」があり、請求すれば公開されます。委員会審査報告は、会議規則を読み違えていると思います。

- (2) 民主主義は、違った意見を持つ人が意見を出し合って、最後は多数決で決める事を内容としています。

後になって反対した少数意見の方が正しかったと云うこともあり得ます。少数意見が後に多数意見になった時に「世の中が変わった」と云うことにもなり、歴史は進みます。

「議決に対する批判を公然と行った……」とする部分は、反対した議員が、その理由を市民の皆さんに報告してはならないということになります。

あり得ない民主主義否定であり、日本国憲法第21条違反です。

「言論、出版その他の一切の表現の自由は、これを保障する。」**「検閲（内容を審査し、削除や訂正を求めたりすること）は、してはならない」とする規定に違反しています。**

- (3) 尚、南相馬市議会基本条例では、前文で「論点、争点を広く市民に明らかにする責務を全うし、市における民主主義の発展と市民全体の幸福のために活動するものである。」と明記しています。